

【施設状況】

グループ名称	真島総合スポーツアリーナ(ホワイトリング)、真島テニスコート、青垣公園市民プール										
指定管理者名	株式会社フクシ・エンタープライズ					法人番号	9010601006031				
所管課	主	151000	スポーツ課	副							
構成施設	3492	真島総合スポーツアリーナ(ホワイトリング)									
		真島テニスコート									
	6088	青垣公園市民プール									
施設分類	02	施設貸出1型			施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制	
施設概要	メインアリーナ、サブアリーナ、真島テニスコート(1面)、青垣公園市民プール(25m変形プール、ウォータースライダー2基、ジャブジャブ池、親水エリア、幼児プール)										
施設設置目的	真島総合スポーツアリーナは、1998年第18回オリンピック冬季競技大会開催にあたり、フィギュアスケート会場及びショートトラックスピードスケート会場として建設され、その後、後利用計画に基づき一部改修工事を行い、スポーツ振興を目的とした市民の一般利用を中心とする総合体育館として平成11年6月に開館した。 青垣公園市民プールは、市民が健康で生き生きと心豊かな生活を送り、身近にスポーツ・レクリエーションを楽しめる場の提供を目的に平成7年3月に建設された。										
基本方針等	長野市営真島総合スポーツアリーナは、幼児から高齢者まで、市民が世代を超えて楽しみながら気軽にスポーツに親しむことのできる施設となること及び各種国際・全国レベルの大会を開催して、市民がレベルの高いスポーツ鑑賞をすることのできる施設となることの両立を目指す。 また、全施設について指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、全ての利用者に質の高いサービスと、安全で快適な環境を提供することにより、利用率向上を求める。										
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> 施設貸出(一般利用) スポーツ教室の開催(真島総合スポーツアリーナ) 										

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	株式会社フクシ・エンタープライズ			当該指定管理者の 指定回数	4 回	
指定期間	令和3年4月1日	～	令和8年3月31日	5年	当該指定管理者の 管理運営開始日	平成18年4月1日
指定 管理 者 の 健 全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)					

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		利用区分等	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年比	評価
		アリーナ入場者数	人	147,131	67,047	95,328	153,024	161%	3
		テニスコート利用者数	人	867	1,020	1,103	823	75%	
		青垣公園市民プール利用者数	人	19,335	8,700	11,028	10,048	91%	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
		(特記事項)							
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用許可に関する業務 施設及び設備の維持管理に関する業務 施設の利用の取り消しに関する業務 利用料金の収受に関する業務 予約システムに関する予約の申請、取り消し、許可書発行業務 施設管理全般業務(維持管理点検・清掃等) その他、市が必要と認める業務 							
	自主事業	<ul style="list-style-type: none"> アリーナ教室事業 (シルバー、ストレッチ&筋トレ、健康ウォーキング、姿勢改善ヨガ、ナイトヨガ、キッズ体育、フットサル、ブレイクダンス) 青垣公園市民プールイベント (プールまつり、幼児宝探しゲーム、25mタイムトライアル、浮島リレー、じゃんけん大会、パーソナルレッスン) 青垣公園市民プール物販・イベント (浮き輪のレンタル、ゴーグル販売、ガチャガチャ) 			<ul style="list-style-type: none"> 追加事業として親子DEボールピラティス・いきいき健康ピアノを定期事業として実施した。 ほか、障がい者スポーツ体験会、100人健康体操、夏季短期スクールの単発・短期のイベントを開催し、さらに、ブレイキン大会、フットサル大会の大会を主催した。 				
サービス維持・向上の取組み(広報等)		<ul style="list-style-type: none"> 広報・ホームページ、プロジェクトマッピングによるサイネージ機能等で情報発信し、PR活動を実施。 Instagramを開設し、更なる需要獲得に向けた宣伝周知を強化。 							

3 利用者評価

利用者評価		区分	内容	評価
利用者評価	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート	3
		(2) 調査、会議等の内容	<ul style="list-style-type: none"> ペーパーアンケートの設置と、ホームページに埋め込んだデジタルアンケートを設置した。 地域住民の声を直接聞く取り組みとして、真島地区住民自治協議会分科会リーダーの会議に参加した。 	
		(3) 調査、会議等の結果	<ul style="list-style-type: none"> 利用者アンケートを実施してアリーナ・テニスコート利用者172名、青垣公園市民プール利用者50名の回答を得た。 分科会リーダーの会議では、地域住民が求めるコミュニティや農産物について具体的な事業連携の方向性を定めることができた。 〈アリーナ・テニスコート利用者 172名〉 利用頻度(初めて21名、週1~2回85名、週3~4回22名、月1~2回26名、月3~4回22名) 開館時間(朝が遅い5名、朝が早い12名、夜が遅い8名、夜が早い4名、丁度良い138名) 利用料金(安い34名、普通122名、高い16名) 施設の改善点(良い59名、普通103名、改善してほしい10名) 〈プール利用者 50名〉 利用頻度(初めて32名、月1~2回12名、月3~4回1名、その他5名) 料金(高い4名、普通32名、安い14名) 施設の改善点(良い31名、普通15名、改善希望3名、未回答1名) 	
	利用者からの要望・苦情等	(1) 良好とする評価	<ul style="list-style-type: none"> 〈プール〉 水がきれいで気持ちよく利用できた。 管理が行き届いており、安心して利用できる。 	3
		(2) 苦情・改善等の要望事項	<ul style="list-style-type: none"> 〈アリーナ・テニスコート〉 ①照明が暗い ②床が古い、滑る ③雨でもテニスがしたい、面数を増やしてほしい 〈プール〉 ①シャワーカーテンが古い、赤ちゃんの待機場所がほしい、靴袋の再利用はやめてほしい ②売店の種類を増やしてほしい、プールサイドに自動販売機がほしい 	
		《対応措置》	<ul style="list-style-type: none"> 〈アリーナ・テニスコート〉 ①電気料金高騰に伴う計画節電をR4年12月から実施しているためご理解ご協力をいただきたい。 ②アリーナフロアの改修予定があるため、竣工までお待ちいただきたい。 ③長野市と協議したい。 〈プール〉 ①更衣室内の利用満足度を向上するべく取り組みを検討する。 ②検討したい。 	

4 事業収支

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和4年度)				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		令和4年度決算		令和3年度決算(前年度)		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
	収入		歳入		歳入		歳入		
	利用料金	48,166,000	利用料金	57,885,100	使用料		使用料		4
	指定管理料	80,000,000	指定管理料	84,664,000	雑(納付金)	996,000	雑(納付金)	2,676,000	
	委託料		委託料		行政財産目的外使用料	1,493,521	行政財産目的外使用料	1,494,250	
	販売収入等	2,795,000	販売収入等	1,072,650	貸付料		貸付料		
	その他収入		その他収入		その他		その他		
	計	130,961,000	計	143,621,750	計	2,489,521	計	4,170,250	
	人件費	31,429,000	人件費	31,837,942	指定管理料	84,664,000	指定管理料	80,000,000	
	設備管理費	50,284,000	設備管理費	54,904,120	委託料		委託料		
	備品購入費	30,200	備品購入費	638,000	需用費		需用費		
	修繕費	1,636,000	修繕費	901,120	役務費		役務費		
	光熱水費	36,146,000	光熱水費	39,295,733	使用料・賃借料	2,907,080	使用料・賃借料	272,470	
	事業費	2,006,000	事業費	2,556,565	修繕費		修繕費		
	事務経費	2,927,000	事務経費	3,178,777	工事請負費		工事請負費		
	本社経費	3,000,000	本社経費	3,000,000	備品購入費		備品購入費		
	その他	3,231,000	その他	3,987,269	その他		その他		
	計	130,689,200	計	140,299,526	計	87,571,080	計	80,272,470	
自主事業	収入	11,591,000	収入	6,584,118					
	支出	11,240,000	支出	6,158,049					
	自主事業損益	351,000	自主事業損益	426,069					
損益		622,800		3,748,293	差引	-85,081,559		-76,102,220	
人件費比率【人件費(賃金等)／令和4年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)								22.7%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて☑で、「3」、「4」、「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	☑	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数)		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	☑	3
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	☑	3
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	☑	3
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		
セルフモニタリング等	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	☑	3
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	☑	3

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	4	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか		<input checked="" type="checkbox"/>
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		<input checked="" type="checkbox"/>
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	評価
	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		4
	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣地区業者への積極的業務発注 ・市内からの積極的な雇用 ・市内業者からの積極的な物品購入 ・高齢者の雇用促進 ・近隣水路の清掃作業の実施 ・敷地内に地元住民による花壇作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の声を直接聞き取り組みとして、真鳥地区住民自治協議会分科会リーダーの会議に参加し、地域住民が求めるコミュニティや農産物について具体的な事業連携の方向性を定めることができた。 ・障害者就労支援事業所と連携し、ホワイトリングの草刈りと青垣プールのオープン前準備作業を行った。また、農産物の販売場所を提供し、共同して販売等を行った。 	

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性</p> <p>地域の連携</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>危機管理体制</p> <p>70</p> <p>----- 基準値</p>
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	3	6	
事業収支	4	16	
管理運営全般	3	6	
危機管理体制	4	16	
地域連携	4	8	
合計得点		70	

評価理由

・「事業収支」については、昨年度に引き続き、年度計画以外の利用収入を確保した実績（新日本プロレス興行1回、マイナビ就職説明会2回）を考慮し評価を「4」とした。
 ・「危機管理体制」については、新型コロナウイルス感染対策の徹底や夜間の非常事態への適切な対応を考慮し、評価を「4」とした。
 ・「地域連携」市内雇用の割合が約98%と高いこと、近隣地区業者へ積極的に業務の発注を行っている点を考慮し、評価を「4」とした。

取組み・改善案等
(施設所管課)

前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)
<ul style="list-style-type: none"> ・個別施設計画に基づき、大規模改修の準備を行う。 ・プロスポーツチームの状況を確認し、チームと連携しながら新リーグへの参入を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・庁内関係部署と情報共有を図りながら高機能化改修、長寿命化改修の準備を進めた。 ・プロチームと情報共有を図り、新規参入要件を満たせるように準備を進めた。 	

次年度の目標・取組み等
(施設所管課)

・個別施設計画に基づく大規模改修で対応する以外の不具合については、利用者の安全面を考慮し、指定管理者と協力して対応する。
 ・プロスポーツチームの本拠地として必要な対応を継続して行う。
 ・利用者アンケートについては、回答数が大幅に増えたが、引き続き利用者の声に可能な限り対応していく。

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

- ・ホームページの整備とSNSの運用により、施設情報の発信を強化した。
- ・玄関口を整備して、マット・談笑スペース・掲示コーナー・デジタルサイネージ等の設置により、利便性・満足度の向上を図った。
- ・掲示コーナーやSNSを活用して地域情報やサークル活動、大会情報などを発信し、協力・共同により宣伝PRに貢献した。
- ・真島総合スポーツアリーナは、総合体育館としての役割と、興行やイベントアリーナとしての役割があり、利用団体が多く、稼働率も高いため、共有する備品の数や保管場所などの明確化に努めた。
- ・使用前後に備品のチェックを行い、すべての利用団体に対して公平平等に、さらに快適に使いやすい管理を行った。
- ・アスリート競技やプロのスポーツ大会から一般利用まで幅広い利用がある中で、すべてのお客様にパフォーマンスやモチベーションが下がらないよう、施設内の怪我の発生防止に努めた。例) 駐車場でのおまじないを回避するために、毎朝ゴミ拾いと点検を実施し、大きな石や凸凹などがある場合は適時対処した。
- ・AEDのほか、熱中症対策キットを設置して、熱中症に備えた。

② 業務の効率化に対する取組み

- ・新型コロナウイルスに対する各種マニュアルを整備し、社内・職員間での共有を図った。

③ その他

(2) 指定管理者業務実施上の課題

- ・設備全般の経年劣化や使用不可の状態になっているものがあり、継続的に施設不備状況の観察と改修計画を立てる必要がある。

(3) 総合評価

評価基準

- 【A】計画や目標を大きく上回る
- 【B】計画や目標を上回る
- 【C】計画や目標どおり
- 【D】計画や目標を下回る
- 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

B

① 評価理由

- ・自社営業による本体収入が全体の22.35%の割合であり、そのほか収入の減収や、電気料金や設備管理費、賃金等の支出高騰に対して収支のバランスが図れたことは、大きな成果であった。
- ・計画を履行する中で、追加事業として、定期事業の増設、単発短期のイベント、大会やイベントの主催など、幅広く市民サービスや地域貢献の実績ができた。
- ・真島地区住民自治協議会分科会リーダーの会議に積極的に参加し、直接、地域の声や意見を収集し、具体的な地域連携を創造することができた。
- ・地域就労施設、福祉協議会などと連携して施設の維持管理業務や商品、飲食の販売を支援した。

② 次年度以降の取組み

- ・地域連携事業として、真島地域に具体的な貢献を実行する。
- ・ホワイトリングの空きスペースや施設の有効活用として、独自の企画やイベント等を実行する。
- ・施設の認知度を高めるため、キャラクターを活用したポスター、グッズ、フライヤーなどを制作する。